

## ●ベネズエラ

今年の社会主義十月大革命の記念日を、よりよい世界のため声を上げる機会としていきましょう

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使  
セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ

一〇二年前、四年間の第一次世界大戦参戦を経て深刻な社会的・経済的危機に陥っていたロシアで民衆の蜂起が起こり、同年一九一七年二月にロマノフ朝が崩壊しました。この出来事により、十一月六日夜から同七日、ロシアの共産主義勢力であるボリシェビキが権力を掌握することとなりました。

ロシア革命は歴史上初めて成功した労働者革命となり、先例のなかった物事が実行されていきました。たとえば、金融機関や企業の国有化、労働者による生産管理、基礎的な民主主義組織であるソビエトの迅速な広がりなどです。これらが、搾取も抑圧もない社会の実現に向けて行なわれました。この革命は、その深く根源的な性質から大きなインパクトを生み、労働者階級や農民階級にとどまらず広く影響をおよぼしました。

さらにロシア革命は世界にも波及しました。一九一九年にはコミンテルンが設立され、世界の労働者勢力はロシア国民が成し遂げた成果にインスピレーションを受け、希望を見出しました。

例年と同様、わたしたちの先を歩んだ革命家たちの犠牲や闘いに想いを馳せることには、価値があります。帝国主義、資本主義、新自由主義が平和と持続可能な未来を脅かし、新たな方法で人間の尊厳を押さえつけている現在の不自然な世界において、これら今ある価値を持つことがますます必要となっています。

わたしの国、ベネズエラのケースを思い出してみてください。ベネズエラは米国から攻撃され封鎖されています。米国は一方的強制措置をやめず、国家間の関係を定めるもっとも基本的な協定に違反し、現在ベネズエラ国民が直面している困難を極端なまでに高めています。

このような状況においても、ベネズエラ政府はもっとも脆弱な立場にいる国民に包括的に対応することを優先してきました。食糧支援、教育、主な公共サービスへの助成を続けることにより、市民生活を支援しています。

ベネズエラは国際的連帯を呼びかけてきました。そしてその連帯は、国連人権理事会の理事国選挙を通じて、また非同盟諸国の最近の会合で一二〇か国がニコラス・マドゥーロ・モロス大統領の政府を承認・支持したことによって証明されています。

それぞれ置かれた状況は異なり、地理的・文化的な違いはあれど、世界の諸国民はあらゆる人により多くのチャンスがあるような公正な社会を求め、団結して声を合わせています。今年の十月社会主義大革命の記念日を、よりよい世界のため声を上げる機会としていきましょう。

二〇一九年十月三十一日

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使  
セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ

(『思想運動』1048号 2020年1月1日号)